

主宰作品

染谷秀雄

霜降の白蛾

木斛の花散る磴のあたりまで
師の墓を訪へばつくつくほふしかな
水澄める沈みゐる葉のうつくしく
受け石を打つとき揺るる添水かな
さんさんと夕日の中や放生会
ほろほろと触るれば零る穂紫蘇かな
落花生干す波音を遠くして
振り向ける枯蟪蛄の眼はみどり
霜降の白蛾止まってゐたりけり
日の出湯はそこ柵の花兆す